



相模原市立 公文書館だより

第13号 令和3年5月

旧相模原町の旧町村文書からわかること

常設展示を開催！6月10日（木）～9月29日（水）

今年4月に、市立博物館から市立公文書館に移管された、相模原町域の旧町村の歴史的公文書の一部を常設展示として公開します。

移管された歴史的公文書は、旧相模原町を構成した、相原村・大野村・大沢村・田名村・上溝町・麻溝村・新磯村の7か町村の歴史的公文書です。これらの旧町村文書は、明治22年の町村制施行以降の行政文書が中心ですが、一部に江戸時代から引き継がれた古文書も含まれています。

今回は、旧町村文書の概要を明らかにするため、事務報告の項目である村会（村政）、土地、勸業（産業）、衛生（厚生）、教育（学事）、

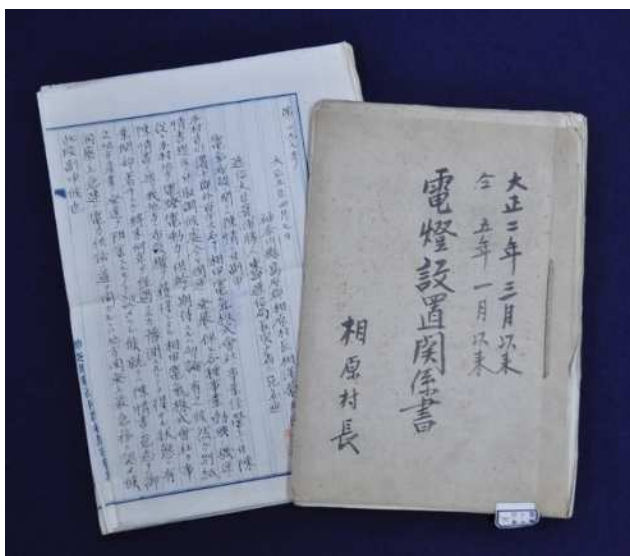


昭和15～16年の村会会議録

社寺（宗教）、兵事（軍事）などの項目ごとに、主な簿冊を展示し、解説を付していきます。

資料の総点数が4079点と多数であり、その一部の展示となりますが、前期（村会～勸業）と後期（衛生～兵事）で資料を入れ替える予定です（概ね2か月ごと）。

また、特徴的な事例のケーススタディとして、「相原村の電気事情」について、明治末期の相原村における送電線の設置関係の資料、さらに大正2年の「電灯設置関係書」につながる資料や簿冊を展示し、大正6年9月に橋本駅付近の電灯が点灯されるまでの経過を明らかにしていきます。



相原村『電灯設置関係書』（大正2年～5年）

令和3年度常設展示

「旧相模原町の旧町村文書からわかること～相原村「電灯設置関係書」を事例として～
期間 令和3年6月10日（木）から9月29日（水）まで / 場所 市立公文書館

新たに旧相模原町の旧町村文書を追加！

市立博物館から移管の旧相原村文書など4,079点



明治期の地租改正関連簿冊

4月に移管された旧相模原町域の町村文書は、総点数4,079点。明治22年(1889)の町村制施行以降の行政文書が中心ですが、江戸時代から引き継がれた古文書類や明治22年以前の文書も含まれます。江戸期の古文書類は、旧大島村・旧田名村の検地帳や村明細帳など16点余です。明治22年以前の文書は、上級官庁である神奈川県及び郡役所などからの達書(たっしがき)及びその写し、さらに地租改正に関連した、野帳・反別取調帳、地租名寄帳や地券台帳、地租改正地引絵図の絵図類など、村の基礎的な資料が簿冊の形で残されています。これらの資料は、名主や組頭などの村役人の家で保管されていたものが、戸長役場に引き継がれ、さらに町村制施行で設置された各村役場に引き継がれ、保管されてきたものと考えられます。

また、今回移管を受けた相模原町域の町村文書は、昭和39年から47年にまとめられた「相模原市史」の編さんのために集められた資料で、市史編集終了後も、市立図書館古文書室で保管され、旧橋本出張所(昭和52年)・旧麻溝出張所(昭和58年)に残された旧村文書

なども受け入れ、平成7年の博物館開館(古文書室閉室)とともに博物館収蔵庫に収められたものです。出張所にあった資料も受け入れているため、昭和30年代から昭和40年代にかけての資料も含まれています。

明治22年から戦後すぐの時期まで、毎年予算書を議会に提出する際に、その前年の「事務報告」を併せて提出することが義務付けられていました。この事務報告のひな型(明治28年10月29日付神奈川県訓令第55号)に基づいて項目が定められ、「一町(村)会」「二選挙」「三吏員更迭」「四庶務」「五戸籍」「六兵事」「七教育」「八衛生」「九勸業」「十土木」「十一社寺」「十二土地」「十三収税」「十四会計」「十五財産」「十六营造物」について事務の執行結果がまとめられ、報告されました。町村ごとで若干の違いはありますが、おおむねこれらの項目に沿って、町村の文書(簿冊)はまとめられることが多かったようです。現在の公文書分類科目表とは、だいぶ精粗がありますが、明治22年から昭和20年頃まではこの項目が用いられていました。



明治期以降の指令・通達関係の簿冊

【歴史的公文書所蔵数】

毎年、現用公文書としての保存期間が満了した公文書のうち、後世に残すべき重要な公文書が「歴史的公文書」として公文書館に移管されます。

これらに加え、これまで博物館資料として保管されていた旧相原村などの旧町村文書等4,079点を追加し、令和3年4月1日現在、32,472点を保存しています。

移管された旧町村文書などを収録する歴史的公文書目録については、6月下旬以降に更新（公開）する予定です。

所蔵総数	32,472点 (前年比2,698点増)
<内訳>	
現相模原市	2,915点
旧相模原市	8,377点
旧城山町	2,559点
旧津久井町	15,404点
旧相模湖町	1,010点
旧藤野町	2,207点
旧市町にはそれ以前の旧町村の歴史的公文書を含む。	
目録化総数	27,813点 (目録化率85.7%)

【保存行政資料・広報的資料所蔵数】

行政資料は、行政運営上使用することを目的に作成した冊子等で、公文書館ではこのうち歴史資料として重要なものを「保存行政資料」として永年にわたり保存しています。

保存行政資料は、昨年度、調査を実施し移管された資料等を追加し、令和3年4月1日現在、5,766点を保存しています。

また、市の施策や制度などを周知、啓発するためのチラシやポスター、ノベルティグッズなどを「広報的資料」として収集・保存しています。

広報的資料は、令和3年4月1日現在、855点を保存しています。



【左】昨年度調査で収集した保存行政資料

【右】広報的資料(緑区区制10周年記念グッズ)

年度	保存行政資料	広報的資料
令和3年4月1日	5,766点	855点
令和2年4月1日	5,136点	556点
前年度比	630点増	299点増

第18回企画展「『軍都計画』と相模原」第3弾 開催結果

～相模原陸軍病院(米陸軍医療センター)の変遷～

開催期間 令和3年3月23日(火)～5月28日(金)

展示資料 41点 / 来館者数 237人

Web企画展アクセス数(～5/24) 1250件

今回よりWeb企画展として市ホームページで公開しています。

<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisetsu/shikanren/etc/1022787.html>



トピックス

初めての「公文書館トーク・トーク」

第18回企画展『「軍都計画」と相模原」第3弾では、初めて「公文書館トーク・トーク（展示解説）」を開催しました。

「公文書館トーク・トーク」は、展示資料の内容説明に加え、その資料の時代背景や話題を交え紹介することで歴史的公文書により理解を深めてもらうことを目的に企画したものです。

今回は、相模原市のまちづくりにおける陸軍施設整備のかかわり（軍都計画）やその記録、今も遺る当時の遺構などを紹介しました。

参加者からは「幼い頃から住んでいる地域のことばかり興味深かった」「公文書は未来の人が過去を知るのに必要な文書だということ

を感じた」などのご意見をいただきました。今後も感染防止対策を徹底した上で気軽に参加いただける事業を企画していきます。



「地域の歴史を知りたい。」と親子で参加

電子申請や郵送でも利用請求できます

市立公文書館では、館内での受付に加え、電子申請や郵送で歴史的公文書の利用請求を受け付けています。来館せずに利用請求できる電子申請などをご利用ください。

なお、利用にあたっては、公文書館内での閲覧となります。

【郵送の場合】

市ホームページの公文書館サイトにある「相模原市現用公文書・歴史的公文書検索

システム」から利用したい歴史的公文書を特定した上で、「歴史的公文書利用請求書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、市立公文書館あて郵送してください。

【電子申請の場合】

利用したい歴史的公文書を特定した上で、市ホームページの公文書館サイトの「電子申請による利用請求」にある「電子申請システム」から申請してください。

休館日のお知らせ

令和3年度より市立公文書館の休館日は、**土日、祝日等**になりました。なお、企画展等の開催期間中は土曜日なども開館します。開館日はその都度ホームページ等でお知らせします。

《編集後記》

コロナ禍での業務で、より利用し易く親しみのある公文書館であることが大切と考えるようになりました。少しずつ改善しながら進んでいきたいと思えます。お越しをお待ちしております。(Y)

公文書館だより 第13号 発行日 令和3年5月31日

編集発行 相模原市立公文書館 電話 042(783)8053

所在地 〒252-5192 相模原市緑区久保沢1-3-1 城山総合事務所第2別館3階

